

資料 3

平成 29 年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 11 月 22 日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	期間・回数	参加者数	学習成果	主な講師
1	保谷駅前	家族のトリセツ 研究講座	学習・ 自己実現	6 月 25 日、7 月 2 日・16 日・23 日 日曜日 全 4 回	延 127 人	ひきこもり当事者の話や自己 尊重意識を高めるワークショ ップから、家族関係が改善さ れるヒントや、家族の中に合 意を生み出すヒントを得るこ とができた。	林恭子（「ひきこもり U X 会 議」主宰） 高山直子（東京都労働相談情 報センター 心の健康相談 員） 木村ナオヒロ（「ひきこもり 新聞」編集長）
2	保谷駅前	困難を生きる力に 変えるヒント (女性編)	学習・ 自己実現	6 月 4 日 (日)、 6 月 7 日～10 月 4 日の毎週水曜日 全 10 回 ※イラスト展は 6 月 2 日～8 月 30 日	延 126 人	映画、マンガ・イラストを用 い女性の貧困、生きづらさ、 働きづらさを可視化。地域の ピアサポートを体験し、その 根っこにある「自尊感情回復 のプロセス」と「安心・安全 な場づくり」を学ぶ機会とす ることができた。	早川千絵（映画監督） 飯島裕子（『ルポ貧困女子』 著者） 南部節子（西東京わかち合い の会） ナガノハル（働く女性の全国 センター） 林恭子（「ひきこもり U X 会 議」） 東海敬子（東日本大震災被災 体験者） 加藤真規子（NPO こらーるた いとう） 渋谷典子（NPO ウィメンズア クションネットワーク）

3	保谷駅前	第9回保谷駅前公民館「駅前フェスタ2017」	交流	9月16日(土) ※展示は9月1日(金)～9月19日(火)	233人	予想よりも多くの来場者があり大変な賑わいを見せた。参加団体は年々増え、保谷駅前公民館の定例的な行事として定着してきている。来年は開館10周年を迎える。今後も実行委員会に参加する団体と活発に意見交換をしながら市民主体の行事として開催していく。	【参加団体】 展示の部：5団体 発表の部：11団体 地域団体（ゆめこらぼ） 個人参加：2人
4	保谷駅前	公民館を考える講座「公民館ってどんなところ？」	地域づくり	9月30日(土)	14人	保谷駅前公民館利用者懇談会の中で、市民にとっての公民館の存在意義について改めて問いかける目的でこの講座を実施した。	新藤浩伸(東京大学大学院准教授、専門は生涯学習論)